



報 寺 誓 重

第13号 平成21年11月発行

どんなに前向きに生きようとも、誰しもふとした折りに、心が萎^なえることがある。だが本来、人間の一生とは、苦しみと絶望の連続である。そう「覚悟」することからすべては開けるのだ。

五木寛之著

「大河の一滴」より

世の中には、必ずプラスとマイナスの出来事があります。うれしいこともあるが、悲しいこともあります。自分にとって良い人も居れば都合の悪い人も居ます。健康であり続けることは難し

く、必ず病気にもなります。そして生まれてきた命には、必ず死が訪れます。

プラス思考が健康の源であり、何事もうまく行く秘訣であると言われます。確かにそうなることが多いかも知れませんが、もしそうならなければ落ち込むことはありません。

そのように考えると必ずしもプラス思考が良いとは限らず、プラスもあればマイナスもあると言うことを認めなければなりません。

私たちにとって都合の悪いことにも目を背けず、私自身に与えられたことであると受け止めなければならいけないのではないのでしょうか。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、五、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

浄土真宗にとって一番大切なことが、
仏法を聞くこと、いわゆる聴聞であります。
椅子席もございます。
ご家族お誘い合わせの上、お参り下さい。

親鸞聖人 報恩講

十一月二十日 (金)

二十一日 (土)

講師 しなずがわ 不死川 浄師



常例法座

十二月二十日 (日)

講師 中西 昌弘 師

一月二十日 (水)

講師 足利 孝之 師

二月二十日 (土)

講師 寺本 悦雄 師

いずれも昼二時、夜七時より

修正会 (元旦会)

一月一日午前八時より

お勤め、法話、流盃 約一時間

大晦日は午後十一時より

一日午前一時まで開門致します。

是非お参り下さい。



親鸞聖人七五〇回大遠忌

二〇二二年には浄土真宗の宗祖であります親鸞聖人（一一七三―一二六二）の七五〇回大遠忌を迎えます。

親鸞聖人は平安の末期に京都・日野の里で誕生、九歳で出家・得度し、比叡山・延暦寺で修行されました。

しかし修行だけで本当に民衆が救われるのかという不安から、一九歳で山を下り、法然上人のもとで、お念仏によって誰もが仏に救われるという教えに出会われます。

念仏弾圧により越後へと流罪になりながらも後は関東へと移り、教えを伝え広めて下さります。晩年は京都に戻り、「きょうぎょうしんしやう教行信証」など様々な書物の記述をされました。その後も長男との義絶な

ど波瀾万丈の人生を過ごされ、この時代では異例な九十歳という年齢で往生されました。

親鸞聖人のご苦勞がなければ今のお念仏の教えは伝わらなかつたわけで、ご威徳に感謝させていただく法要であります。

本願寺では平成の大修復を終えた御影堂にて大遠忌法要が行われますが、それまでも各地で「お待ち受け法要」が行われます。

えなみそ
榎並組

（旭、城東、都島の浄土真宗寺院）

親鸞聖人七五〇回大遠忌お待ち受け法要

二〇二〇年一月三十一日（日）十時より

僧侶百人による法要や、パーティー

会場…太閤園 参加費…二千元

入場できる人数に限りがありますので、
重誓寺までお問い合わせ下さい。

RADIO HAAFUU LIVE

RADIO HAAFUU アコースティックライブも今回で6回目となります。

毎回、楽しいトークやすばらしい音楽はもちろんのこと、朗読やラジオ番組風など、趣向を凝らし新たな展開があります。老若男女、どなたにでも楽しんで頂けるライブです。

11月29日（日）午後5時～6時

重誓寺本堂にて

出演 畑中ふう 打越元久
(ナレーター) (ミュージシャン)

入場無料



どうしてもお越しになれない方は、当日インターネット生中継をご覧ください。
<http://park6.wakwak.com/~juseiji/>

たまたま右眼の不調で眼科を受診したところ、ついでに検査した左眼に網膜剥離が見つかり、手術を受けました。十日間ほどの入院でしたが、何せ体の方は何ともありませんので、時間を持て余しました。健康が一番とよく言いますが、私たちは常に健康を保つことは出来ません。そのことを受け止め、認めることも必要なのでしょうか。今回のことで、ご心配、ご迷惑をおかけした方々にお礼、お詫びを申すと共に、ゆっくりとした時間を与えられたことに感謝したいと思います。

浄土真宗 本願寺派(西本願寺)重誓寺

じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2-4-19 電話・FAX06(6951)0090

<http://park6.wakwak.com/~juseiji/>

ホームページからバックナンバーを含めご覧いただけます。